MEIJO Q&A

理工学部 数学科

Q 結局、数学って何の役にたつの？

宇宙の解明から日本酒づくりまで。数学は、世界を紐解くための共通言語です。

「数学」は、世界のあらゆる事象とつながっている。

目に見えて成果がわかる工学や医学などの学問に対し、研究の成果がイメージしづらい数学という学問。数学は「何の役に立つの？」「何のためにあるの？」といった疑問がよくあがります。その問いに答えるならば、「この世の世界のあらゆるものに役立つ、かもしれないのが数学」。世界のあらゆるものごとを解明するときに使われているのは、つまるところすべて数学なのです。しかし、数学には解けていない問題がたくさんあります。そのため世界の数学者たちは、この世にあまたある、いまだ解けていない数学の問題に挑戦し、ものごとの真理に近づこうとしているのです。

たとえば、日本酒醸造過程を記述する数理モデルとその解析。

私は、「仮似変分不等式」と呼ばれる問題をテーマに研究に取り組んできました。数学的にこの問題を解くという挑戦を続けながら、同時に近年取り組んでいるのが、この仮似変分不等式を使った日本酒の醸造過程モデルの構築。杜氏と呼ばれる専門家が、長年の経験を積み重ねて試行錯誤を繰り返して生み出される日本酒。おいしい日本酒づくりにはとても繊細な調整が必要になります。そんな日本酒づくりの仕組みを数理モデル化し、数学で紐解こうという取り組みです。このモデルは、継承者不足に悩む日本酒業界の伝統継承にも貢献できるのではと期待されています。

村瀬 勇介 先生
Murase Yusuke

大学では、小学校の教員をめざして教育学部に進学。高校まで数学が苦手な学生だったのですが、大学で数学を学ぶうち、世界のあらゆる事象に対し、なぜそうなるか紐解く学問が数学だと気づき、世界が変わりました。それ以来すっかり数学に夢中です。

私の気分転換

気分に合わせた選曲で、自分の気分をコントロール。

マンガを読む、ヨーヨーに興じる、ただただ動き回るなど、さまざまな方法でリフレッシュを試みていますが、やっぱり音楽を聞くと気分転換になります。DJ機材を使って、気分に合わせた選曲をして楽しんでいます。